

論点整理表（平成30年度事業内容反映）

●:主体 ○:支援

必要な施策	施策の視点（委員意見から）	種別	具体的な取組(案)	主な取組主体				
				行	支	企	学	
1.人材確保 (働き方改革)	1-1.就職支援に対する事業の充実							
		継続	市外大学で市内中小企業等の説明会を開催	●		○	○	
		継続	高校生に対し、面接指導セミナー、市内企業見学会、合同就職面接会を開催	●			○	
		拡充	介護資格を取得する場合の助成金制度	●				
	1-2.首都圏在住の若者のUIJターン促進の仕組みづくり							
		継続	本市と首都圏創業者のマッチングや相互交流等、起業家UIJターンを推進	●	○			
		継続	インターンシップのマッチング、インターンシップに要する旅費の助成	●	●	○	○	
		継続	他機関が主催するUIJターンイベントへのブースの出展	○	●			
		新規	(仮称)こおりやま移住・定住促進プログラムの策定、同プログラムの実施	●				
		新規	S N Sによる就職情報等の発信	●				
	1-3.暮らしやすい、魅力的な「住みたいまち」を市外へPR							
		継続	移住・定住の促進に向け各種イベントやウェブサイトで本市をPR (移住・定住の具体的なメリットを提示)	●				
		代替	「郡山PR大使（仮称）」を新設し、郡山の良さをPR →同趣旨で設置する「フロンティア大使」「郡山市経済人会」等を活用	●	○	○	○	
	1-4.多様な人材の活用							
	・女性、シニアの活用	継続	ネットワーク会議の設置、運営による女性活躍の促進	●	○	○	○	
		継続	郡山市シルバー人材センター活動の周知啓発	○	●			
	・外国人、フリーター、ニート等の雇用	拡充	フリーター、ニートや59歳までの就職困難者に対する就労相談、就労体験の実施	●		○		
	・郡山へ避難された方の雇用							

必要な施策	施策の視点（委員意見から）	種別	具体的な取組(案)	主な取組主体			
				行	支	企	学
1-5.企業における人材確保対策							
・労働環境の整備		継続	事業所に対し、各種助成制度や関係法令等を周知	●		○	
		継続	中小企業の男性社員の育児休業取得のための助成金制度	●		○	
		検討	地元へ就職した場合住民税等でのインセンティブを与える	●			
		新規	中小企業持続化プロジェクト（人材確保のためのセミナー実施）	●	○		
		新規	中小企業持続化プロジェクト（中学生向けキャリア教育への支援）	●		○	○
・企業の成長性、社会的意義、誇れる企業風土のPR							
1-6.介護を抱える社員への支援と周囲の環境づくり							
2.人材育成（職業教育）							
2-1.人材育成に対する事業の充実							
		継続	中小企業大学校等で開催する研修費を補助	●		○	
		拡充	補助対象研修に東北大学大学院 地域イノベーションプロデューサー塾（RIPS）を追加	●			○
		継続	中小企業大学校仙台校と連携した「郡山サテライト校」の運営	●	●		
		拡充	中小企業大学校本部と連携した「サテライトゼミ」の運営	●	●		
2-2.若者の就職後のサポート							
		新規	中小企業持続化プロジェクト（人材確保のためのセミナー実施）【再掲】	●	○		
2-3.働く中高年の知識、技術、ネットワークづくり							
		代替	人材バンク（仮称）＝一定のスキル持つ定年後未就職者を創設し企業に派遣 →福島県プロフェッショナル人材戦略拠点を活用した、人材のUIターン、マッチング支援	●	○	○	○
2-4.ビジネス大学院大学の設置							
		継続	東北大学大学院地域イノベーションプロデューサー塾（RIPS）の運営支援	○			●
		拡充	補助対象研修に東北大学大学院 地域イノベーションプロデューサー塾（RIPS）を追加【再掲】	●			○

必要な施策	施策の視点（委員意見から）	種別	具体的な取組(案)	主な取組主体				
				行	支	企	学	
	2-5.若年層への職業教育（キャリア教育）の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏にはない郡山の良さ、生活するうえでの利便性をアピール ・地元の企業を知る機会の設定 ・科学教育を通じた「理科教育」、「ものづくり教育」 ・大学等と連携した科学技術人材育成活動（サイエンスキャラバン）等の実践、環境整備の支援 	継続	移住・定住の促進に向け各種イベントやウェブサイトで本市をPR【再掲】 魅力的で将来性のある生活の見通しがあることを、具体的に若年層へ周知	●				
		継続	高校生対象「地元企業見学バスツアー」の実施（一部再掲）	●		○	○	
		新規	中小企業持続化プロジェクト（中学生向けキャリア教育への支援）【再掲】					
		新規	こおりやま移住・定住プログラムの策定、同プログラムの実施【再掲】	●				
		新規	S N Sによる就職情報等の発信【再掲】	●				
		継続	小中学生対象「目指せ！理工系女子バスツアー」の実施	●		○	○	
		継続	あつまれっ！ハイテクプラザ					●
		継続	インターンシップ					●
		継続	研修生受入（小中学校を除く）					●
		継続	職場体験受入（中学校）					●
		検討	高校生ビジネスプランづくりの出張授業	○	●		○	
3.生産性向上 ・経営支援強化	3-1.生産性の向上支援 ・ITを活用したバックオフィスの改善	継続	市融資制度運営のための原資を預託	●	●			
		継続	経営改善貸付（マル経融資）の利子を補助	●	●			
		継続	新製品・新技術開発促進事業 現場支援事業				●	
		継続	再エネORT事業				●	
		新規	日本弁理士会との連携による知的財産の普及啓発や専門人材の育成	●	○			
		検討	生産性向上特措法に基づく固定資産税の軽減特例の導入を検討	●	○			

必要な施策	施策の視点（委員意見から）	種別	具体的な取組(案)	主な取組主体			
				行	支	企	学
	3-2.中小企業・小規模企業の経営改善に資する多様な補助金制度 3-3.がんばる企業・個店等応援事業補助金 こおりやまフロンティア補助金（仮称）	検討 検討 新規	販路開拓・生産性向上への取組みに係る経費の一部を補助 生産性向上特措法に基づく固定資産税の軽減特例の導入を検討【再掲】 →特例導入による「ものづくり補助金」、「IT導入補助金」、「小規模事業者持続化補助金」等、国の補助金の優先採択を目指す クラウドファンディングを活用した創業支援、賑わい創出、地域活性化などへの取組みに対する支援（プロジェクト策定支援や手数料助成）	●	○		
	3-4.経営困窮中小企業・小規模企業へのリスク対応支援						
4.産学連携	4-1.産学官連携の機運を高め、地域におけるイノベーションを創出 ・シーズ説明会、産と学、産と産のマッチングイベントの開催を定例化（ビッグパレットの活用） ・各研究機関のシーズを照会、活用により、企業の技術力向上、イノベーション創出	継続 継続 拡充 継続 継続 継続	郡山産業博の開催し市内外へ本市の持つ産業力をPR。また同会場において販路拡大のためB to Bマッチングを実施 市内企業のニーズ、シーズの掘り起こしとマッチング、事業化に向けたプロジェクトチームの形成、セミナーの開催 ドイツ エッセン市との覚書締結を契機とした産業分野での交流・連携の加速化 新製品・新技術開発促進事業 開発支援事業 共同研究、受託研究 研究会事業（航空・宇宙産業技術研究会、廃炉・災害対応ロボット研究会、製造技術高度化研究会）	● ● ●	● ● ○	○ ○ ○	○ ○ ● ● ●
5.情報提供の改善	5-1.わかりやすい施策情報の提供 ・制度へのアクセス性を向上。国県等の施策も併せて提供	新規	中小企業庁ウェブサイト「ミラサポ」への施策登録など	●	○		
	5-2.ワンストップサービス ・専門人材の配置（施策・制度の「ソムリエ」「翻訳」）	検討	コンサルティング専門家派遣システムの構築（コンサルティング料を官が負担等）	●	●		

必要な施策	施策の視点（委員意見から）	種別	具体的な取組(案)	主な取組主体			
				行	支	企	学
6.事業承継の支援	6-1.後継者の育成、事業承継の支援						
	・支援専門人材の配置（施策・制度の「コンサルティング」） ・後継・創業バンク	代替	コンサルティング専門家派遣システムの構築(コンサルティング料を官が負担等) →創業者や事業者に対し、専門家（中小企業診断士、税理士等）、メンター、クリエイターを派遣し、個別相談を実施	●	●		
		継続	後継者不在の事業主と創業希望者のマッチング支援		●	○	
		新規	中小企業持続化プロジェクト（事業承継の意識醸成セミナーを実施）	●	○	○	